



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 マブチモーター株式会社
 コード番号 6592 URL <http://www.mabuchi-motor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 博雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 伊豫田 忠人
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 平成25年9月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 047-710-1127

平成25年9月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	51,044	21.3	3,730	31.2	7,694	69.2	5,579	86.0
24年12月期第2四半期	42,080	8.2	2,843	54.1	4,547	39.3	2,999	33.1

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 18,394百万円 (255.5%) 24年12月期第2四半期 5,173百万円 (119.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	159.25	159.24
24年12月期第2四半期	85.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	213,812	198,046	92.6
24年12月期	196,702	181,372	92.2

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 198,017百万円 24年12月期 181,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
25年12月期	—	53.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	73.00	126.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年12月期期末配当金の内訳 特別配当 20円00銭
 25年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 23円00銭
 25年12月期期末配当金(予想)の内訳 特別配当 23円00銭、記念配当 20円00銭

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	20.8	7,800	54.4	11,300	7.5	8,000	25.3	228.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	37,875,881 株	24年12月期	39,875,881 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	2,839,550 株	24年12月期	4,840,007 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	35,035,557 株	24年12月期2Q	35,036,312 株

(注) 25年12月期2Qの自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数110,100株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。
業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(6) セグメント情報等	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)における世界経済は、米国においては金融緩和に伴う住宅投資と企業の設備投資が牽引し好調を継続する一方、欧州経済は景気低迷の長期化が懸念される厳しい状況が継続しました。我が国経済は、円安により輸出産業を中心に企業業績が改善し、景気回復に向けた兆しが見られました。新興国経済は、輸出の減速により成長が足踏みする状況となりました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は米国及び新興国の需要が堅調に推移しました。家電機器・工具・玩具市場は、住宅関連の回復が続いた米国と新興国市場の拡大により好調に推移しました。一方、音響・映像機器市場は、市場規模の縮小が続きました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比4.3%の減少、金額では前年同期比21.4%の増加となりました。また、期初における第2四半期計画に対しましては、数量で3.0%、金額で12.1%上回りました。これらの結果、当第2四半期売上高は510億4千4百万円(前年同期比21.3%増)となり、その大半を占めるモーター売上高は510億1千万円(前年同期比21.4%増)となっております。

営業利益につきましては、生産数量の減少により単位当たりの固定費負担が増加しましたが、当社製品の主要材料である銅・鋼材の相場の落ち着き、プロダクトミックスの改善、販売費及び一般管理費の抑制効果、並びに円安の影響もあり、当第2四半期の営業利益は37億3千万円(前年同期比31.2%増)となりました。経常利益は、当期中の円安進行により為替差益が前年よりも増加したことで営業外収支が改善し76億9千4百万円(前年同期比69.2%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は76億9千7百万円(前年同期比84.5%増)、四半期純利益は55億7千9百万円(前年同期比86.0%増)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は313億3千2百万円(前年同期比28.2%増)と大幅に増加しました。主要用途であるミラー、ドアロック用や、重点強化事業であるパワーウィンドウ、パワーシート用、新用途であるエレクトリックパーキングブレーキ用などが好調に推移し、円安の影響もあり大幅な増加となりました。

② 家電機器・工具・玩具市場

売上高は91億6千2百万円(前年同期比25.2%増)と大幅に増加しました。ヘアードライヤー、シェーバー、歯ブラシ、工具用が好調に推移し、円安の影響もあり大幅な増加となりました。

③ 精密・事務機器市場

売上高は61億6千2百万円(前年同期比7.7%増)と増加しました。インクジェットプリンター用は、パソコンのタブレット化の影響で数量は減少しましたが、プロダクトミックスの改善と、円安の影響もあり金額は増加しました。複写機・複合機(MFP)、レーザープリンター用は新製品の上市により増加しました。

なお、当第2四半期連結累計期間より、従来の「光学・精密機器」市場の呼称を「精密・事務機器」市場に変更しております。これによる構成用途の変更はありません。

④ 音響・映像機器市場

売上高は43億5千3百万円(前年同期比4.0%減)と減少しました。DVDプレーヤー用は映像データのネット配信の普及、カーCDプレーヤーはアフター市場での在庫調整と採算性重視による受注の絞り込みにより減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して171億9百万円増加し、2,138億1千2百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、現金及び預金の増加86億9千6百万円、受取手形及び売掛金の増加39億3千4百万円、有価証券の増加14億7千2百万円、投資有価証券の減少20億9百万円などです。また、有形固定資産合計で36億7千8百万円増加しておりますが、これは主に海外子会社資産の円換算によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して4億3千5百万円増加し157億6千5百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の増加8億4千8百万円、未払法人税等の増加3億3千4百万円、従業員持株E S O P信託導入に伴う短期借入金の増加1億1千3百万円及び長期借入金の増加4億5千4百万円、その他流動負債の減少15億2千3百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して166億7千4百万円増加し、1,980億4千6百万円となりました。その他有価証券評価差額金で15億5千万円の評価差額が増加し、為替換算調整勘定で112億6千4百万円の換算差損が減少しております。また自己株式の消却により利益剰余金と自己株式が同額(143億5千9百万円)減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

先進国においては、米国経済が好調さを継続する一方、欧州経済の停滞は長期化する様相を呈しています。我が国経済は、円安・株高ともに不安定な動きが予想されるものの回復基調が継続するものと思われまます。新興国経済は、成長は継続するものの伸長率は鈍化する傾向で推移すると予想されます。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場の好調に加えて、家電機器・工具・玩具市場が北米向けの回復と新興国向けの拡大により伸長し、音響・映像機器市場の減少を補い、さらに円安の影響もことから、通期の売上高は期初予想（平成25年2月15日公表）を9.6%上回る1,030億円（前年同期比20.8%増）を予想しております。

利益面では、当第2四半期連結会計期間の実績及び通期の売上高予想を基に見直し、営業利益78億円（前年同期比54.4%増）、経常利益113億円（前年同期比7.5%増）、当期純利益80億円（前年同期比25.3%増）と予想しております。

なお、当第2四半期累計会計期間の実績為替レートは1米ドル95.59円、当下半期業績見直しにおける前提為替レートは、1米ドル95円としております。（期初予想は1米ドル86円の前提）

また、連結業績予想の期初予想からの上方修正に伴い、配当予想を1株当たり年間6円（第2四半期末3円、期末3円）増額し、第2四半期末配当金は1株当たり53円（普通配当30円、特別配当23円）、期末配当金（予想）は1株当たり73円（普通配当30円、特別配当23円、創立60周年記念配当20円）、合計年間配当金は1株当たり126円（普通配当60円、特別配当46円、記念配当20円）と予想しております。

当該業績及び配当予想につきましては、平成25年8月6日に公表いたしました「業績予想の修正及び営業外収益（為替差益）の計上並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 円並びにアジア通貨の為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,071	87,768
受取手形及び売掛金	14,381	18,316
有価証券	12,675	14,147
商品及び製品	14,030	14,353
仕掛品	1,055	1,255
原材料及び貯蔵品	5,391	5,823
繰延税金資産	751	857
その他	3,111	3,312
貸倒引当金	△79	△49
流動資産合計	130,390	145,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,422	43,481
減価償却累計額	△22,366	△24,048
建物及び構築物(純額)	16,055	19,432
機械装置及び運搬具	25,431	29,972
減価償却累計額	△14,088	△16,411
機械装置及び運搬具(純額)	11,343	13,560
工具、器具及び備品	10,899	12,408
減価償却累計額	△8,765	△9,712
工具、器具及び備品(純額)	2,134	2,696
土地	6,023	6,026
建設仮勘定	4,316	1,837
有形固定資産合計	39,874	43,553
無形固定資産		
731		839
投資その他の資産		
投資有価証券	24,349	22,339
長期貸付金	30	28
繰延税金資産	357	331
その他	1,002	967
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	25,705	23,634
固定資産合計	66,311	68,027
資産合計	196,702	213,812

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,028	4,877
短期借入金	—	113
未払法人税等	1,040	1,374
賞与引当金	209	211
役員賞与引当金	44	22
構造改革引当金	1,126	1,070
繰延税金負債	15	25
その他	6,551	5,028
流動負債合計	13,017	12,724
固定負債		
長期借入金	—	454
退職給付引当金	440	459
資産除去債務	15	15
繰延税金負債	1,586	1,779
その他	270	333
固定負債合計	2,312	3,041
負債合計	15,330	15,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	188,175	177,412
自己株式	△34,749	△20,156
株主資本合計	194,551	198,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△158	1,391
為替換算調整勘定	△13,020	△1,755
その他の包括利益累計額合計	△13,179	△364
新株予約権	—	29
純資産合計	181,372	198,046
負債純資産合計	196,702	213,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	42,080	51,044
売上原価	31,427	39,054
売上総利益	10,653	11,989
販売費及び一般管理費	7,809	8,259
営業利益	2,843	3,730
営業外収益		
受取利息	284	244
受取配当金	64	65
為替差益	804	3,154
スクラップ材料売却収入	499	523
その他	153	149
営業外収益合計	1,806	4,137
営業外費用		
株式関係費	27	25
控除対象外消費税等	18	72
その他	57	75
営業外費用合計	103	173
経常利益	4,547	7,694
特別利益		
固定資産処分益	0	5
投資有価証券売却益	—	13
特別利益合計	0	19
特別損失		
固定資産処分損	27	16
臨時退職金	12	—
投資有価証券評価損	336	—
特別損失合計	375	16
税金等調整前四半期純利益	4,172	7,697
法人税等	1,173	2,118
少数株主損益調整前四半期純利益	2,999	5,579
四半期純利益	2,999	5,579

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,999	5,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	568	1,550
為替換算調整勘定	1,606	11,264
その他の包括利益合計	2,174	12,815
四半期包括利益	5,173	18,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,173	18,394
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,172	7,697
減価償却費	1,801	2,184
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4	△4
受取利息及び受取配当金	△348	△310
為替差損益 (△は益)	4	△1,234
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△13
有形固定資産処分損益 (△は益)	27	10
投資有価証券評価損益 (△は益)	336	—
構造改革引当金の増減額 (△は減少)	—	△181
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,507	△2,140
たな卸資産の増減額 (△は増加)	352	1,868
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,092	△621
その他	170	△890
小計	3,920	6,363
利息及び配当金の受取額	355	323
利息の支払額	△0	△0
役員退職慰労金の支払額	—	△935
法人税等の支払額	△1,147	△1,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,128	3,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,226	△3,526
定期預金の払戻による収入	4,833	3,642
有価証券の取得による支出	△3,099	△2,500
有価証券の売却による収入	10,499	5,380
固定資産の取得による支出	△2,576	△2,283
固定資産の売却による収入	1	8
投資有価証券の取得による支出	—	△999
投資有価証券の売却による収入	2	3,020
その他	△100	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,335	2,641
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	567
配当金の支払額	△1,753	△1,753
自己株式の取得による支出	△1	△571
自己株式の売却による収入	—	573
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,755	△1,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	601	5,933
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,309	11,148
現金及び現金同等物の期首残高	61,266	79,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,575	91,052

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の消却)

当社は、平成25年2月15日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、次のとおり自己株式を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ14,359百万円減少しております。

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却した株式の総数 | 2,000,000株 |
| (3) 消却実施日 | 平成25年2月22日 |

(自己株式の処分)

当社は、平成25年2月15日開催の取締役会において「従業員持株E S O P信託」の導入を決議し、平成25年6月6日付で従業員持株E S O P信託を対象とした第三者割当により普通株式111,300株の処分を行いました。これにより、利益剰余金が231百万円減少、自己株式が799百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日において当該信託が所有する当社株式(株式数110,100株、帳簿価額561百万円)については、自己株式として計上しております。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,255	25,225	4,401	7,197	42,080	—	42,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,577	27,482	—	—	54,060	△54,060	—
計	31,833	52,708	4,401	7,197	96,141	△54,060	42,080
セグメント利益又は 損失(△)	△1,022	2,498	293	524	2,294	548	2,843

(注) 1. 当第2四半期累計期間におけるセグメント利益又は損失の調整額548百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,721	30,933	5,758	9,629	51,044	—	51,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,688	32,412	—	—	65,100	△65,100	—
計	37,409	63,346	5,758	9,629	116,145	△65,100	51,044
セグメント利益	120	3,348	234	279	3,982	△252	3,730

(注) 1. 当第2四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額△252百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。